

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00359)

事務事業名称	新たな地域交通の整備				款	05	項	01	目	01	事業	006	整理番号	346	
現担当課名	都市整備部管理課		係名	交通企画係		連絡先電話番号	3514		昨年度整理番号	351					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和61年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	都市整備部管理課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、交通事業者、国、東京都	根拠法令等	(1) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 (2) 杉並区地域公共交通活性化協議会条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民にとって利便性の高い移動環境の創出に向けて、杉並区地域公共交通計画に基づき、誰にとっても移動しやすい地域交通環境を整備する。 交通利便性の向上を図り、地域間の交流を促進するため、環状八号線を基本的な導入空間とした区部周辺の環状交通をはじめとした新たな地域交通を整備する。	活動指標	交通関連協議会等開催数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区地域公共交通活性化協議会を開催する。 グリーンスローモビリティの運行計画を策定するとともに、運行事業者を決定する。 ○グリーンスローモビリティ車両を購入する。 ○区有地を活用したシェアサイクルポートを設置する。 ○自動運転技術の活用に向けた検討を実施する。 エイトライナー構想実現のための調査・研究及び促進活動を行う。	指標名 (1)	杉並区地域公共交通活性化協議会・AIオンデマンド交通検討部会・エイトライナー促進協議会総会等
		指標説明	モビリティ・マネジメント実施回数
		指標名 (2)	公共交通の利用促進に向けた普及啓発活動実施回数。 (すき丸の日・小学校等での交通環境学習等)
		指標説明	公共交通の利用促進に向けた普及啓発活動実施回数。 (すき丸の日・小学校等での交通環境学習等)
		成果指標	交通の便が良いと感じている区民の割合
		指標名 (1)	区民意向調査による【区民】
		指標説明	
		指標名 (2)	できるだけ徒歩・自転車・公共交通機関を使って移動している区民の割合
		指標説明	区民意向調査による【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	2	0	4	0	4	5	0.0	95.5
活動指標 (2)	2 回	0	0	0	0	3	4	0.0	
成果指標 (1)	3 %	93.8	95.2	93.5	95.4	93.0	95.6	97.5	
成果指標 (2)	4 %	91.7	92.3	93.1	92.5	92.5	92.7	100.0	
事業費	5 千円	10,953	11,693	11,528	17,840	17,043	100,230	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	7,581	8,343	11,895	16,636	20,928	16,742	前年度事業費からの増額の理由は、杉並区地域公共交通計画の各種施策を実施年度するためです。 令和5年度から活動指標を変更しています。また、活動指標(2)については令和5年3月に策定された杉並区地域公共交通計画に基づく取組であるため、数値の記載は令和5年度からとなっています。 グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走ることが出来る電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称
	上記以外の職員	7 千円	0	1,838	1,839	1,839	1,904	1,523	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	18,534	21,874	25,262	36,315	39,875	118,495		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,764	0	3,899	4,900	4,938	21,660	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	800	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,764	0	3,899	4,900	4,938	22,460	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	15,770	21,874	21,363	31,415	34,937	96,035	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 346

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉並区地域公共交通活性化協議会の開催	2	回	326
	杉並区地域公共交通計画の推進に関する調査・研究	1	件	4,950
	グリーンスローモビリティの導入に向けた取組	3	件	11,292
	公有地へのシェアサイクルポートの設置	46	か所	0
	その他 (エイトライナー促進協議会負担金など)			475
取組成果	<p>グリーンスローモビリティの実証運行及び本格運行に向け、公募型プロポーザルによる事業者選定、運行計画策定及び運行事業者との協定締結を行いました。また、公共交通不便地域の解消のため、AIオンデマンド交通検討部会において実証運行を行う地域を検討し、対象地域の優先度を決定しました。さらに、今後の自動運転技術活用のため、国土交通省の補助金事業に応募し、採択されました。シェアサイクル事業については、民間事業者との協働により令和5年4月から本格実施し、累計で46か所の公有地にシェアサイクルポートを設置しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>グリーンスローモビリティについては、令和6年5月から開始する実証運行期間中に課題を抽出し、本格運行につながるよう検証を実施します。</p> <p>また、AIオンデマンド交通を始めとした新たな移動サービスにおいては、既存の路線と競合しないよう、交通事業者等と十分に協議を重ね、協力関係を築きながら事業を進める必要があります。</p> <p>令和6年2月に策定した杉並区自転車活用推進計画に基づき、「自転車フレンドリープロジェクト」を通じて自転車の価値・魅力を周知します。また、自転車関与事故は近年増加しており、令和5年には526件 (自転車関与率51.5%) 発生しているため、自転車関与事故を減少させることも重要な課題です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>グリーンスローモビリティについては、令和6年5月に停留所環境整備工事により停留所を設置し、27日より実証運行を開始しました。今後は、実証運行の結果検証や車両ラッピングを実施したうえで、令和6年11月から本格運行を実施します。</p> <p>AIオンデマンド交通については、検討部会において交通事業者との協議を重ね、実証運行に向けた取組を推進しました。また、グリーンスローモビリティやAIオンデマンド交通と連携するMaaSシステム構築について、公募型プロポーザルを実施し事業者を選定し、実行計画に基づく3か年のプロジェクトが開始しました。</p> <p>自動運転については、3D都市モデルを作成する等、次年度以降の取組を推進します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新たな移動サービスを導入することによる、移動の選択肢拡充に向け、関係機関や関係者との協議を重ねます。また、実証運行中の課題を抽出し、検証したうえで、運行計画等に反映します。</p> <p>さらに、事業の内容を広く区民に向けて周知することで、公共交通の利用を促進するモビリティ・マネジメントを実施します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新たな移動サービスのシステム関連は、維持費となるため経費は縮小となりますが、グリーンスローモビリティについては、本格運行となり、予備車両の購入などを含め運行経費が増加する見込みです。</p> <p>また、AIオンデマンド交通についても、実証運行期間やサービス拡充 (運行台数増) となることから全体的な経費は増加します。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00389)

事務事業名称	有料制自転車駐車場の運営			款	05	項	02	目	01	事業	003	整理番号	377
現担当課名	都市整備部管理課		係名	自転車駐車場係			連絡先電話番号	3517		昨年度整理番号	382		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 6年度	実行計画事業	目標 02	施策 06	計画事業	03							
令和 5年度担当課名	土木管理課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	有料制自転車駐車場の利用者	根拠法令等	(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区立自転車駐車場条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	自転車利用者を区立自転車駐車場 (有料制自転車駐車場) に誘導、収容し、駅周辺等公共の場所における自転車の放置を防止することで、区民の良好な生活環境の向上に資する。	活動指標	区立自転車駐車場収容台数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	自転車駐車場の受付案内、自転車整理等の管理業務や警備を業務委託して、有料制自転車駐車場を運営する。 有料制自転車駐車場の施設・設備の保守等、維持管理を行う。	指標名 (1)	年度末日現在の数値。自転車のみの収容台数で、自動二輪車は含まない。
		指標説明	区立自転車駐車場利用率
		指標名 (2)	平日の晴天日における年間駐車台数 ÷ 収容可能台数。自転車のみの利用率で、自動二輪車は含まない。
		指標説明	自転車放置率
		指標名 (1)	放置自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数【行政】
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度対計画比 (%)	令和 5年度予算執行率 (%)	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画			
活動指標 (1)	1 台	25,850	25,835	25,746	25,500	25,440	21,222	99.8	96.1	
活動指標 (2)	2 %	59	80	64	80	68	80	85.0		
成果指標 (1)	3 %	3.8	3.0	3.7	3.0	3.3	3.0	110.0		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	838,864	832,353	828,073	889,876	855,028	812,898	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	43,353	36,190	37,593	37,431	41,939	42,692		
	上記以外の職員	7 千円	2,940	2,940	2,942	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	885,157	871,483	868,608	927,307	896,967	855,590			
財源	受益者負担分	9 千円	537,635	589,653	569,007	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	537,635	589,653	569,007	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	347,522	281,830	299,601	927,307	896,967	855,590		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 377

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)	
	自転車駐車場の運営・警備業務委託		44	か所	442,899
	自転車駐車場の用地・施設の賃借		21	か所	298,427
	自転車駐車場の維持補修委託 (設備保守点検、建物総合保守点検等)		44	か所	36,247
	光熱水費の支出		44	か所	26,745
	その他 (機器の賃借、消耗品購入ほか)			50,710	
取組成果	自転車駐車場の受付案内、自転車整理等の管理業務及び警備の業務委託や、施設の維持補修及び設備点検など、44箇所の有料制自転車駐車場の管理運営を行いました。				

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	自転車駐車場の利便性向上のため、使用料のキャッシュレス化・定期の電子申請・満空情報の提供などが喫緊の課題となっています。また、半数以上の自転車駐車場で施設の老朽化が進んでおり、施設の維持管理や更新を計画的に行っていく必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和6年7月1日にJR中央線高架下の自転車駐車場 (4 箇所) の民間事業者への移管が予定通り完了しました。その他の区営自転車駐車場については、自転車駐車場の利便性向上に向け、設備の老朽化やデジタル化に向けた対応も踏まえ、新たな管理運営方針策定の検討を行いました。 自転車駐車場運営に係る経費については、概ね予算執行計画通りに執行できる見込みです。
事業の方向性・改善策	自転車駐車場の管理運営については、より効率的な管理運営や区民サービスの向上につながる手法など、適切な管理・運営方針を検討し、その方針に基づく取組を実施していきます。 また、大型自転車対策として今後も引き続き、駐車場の利用状況や利用率を見極めながら、大型自転車用の駐車スペースの確保を図っていきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	今年度中に策定する新たな自転車駐車場の管理・運営方針に対応できるよう予算編成を行っていきます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00390)

事務事業名称	放置自転車対策の推進				款	05	項	02	目	01	事業	004	整理番号	378	
現担当課名	都市整備部管理課		係名	自転車活用推進係		連絡先電話番号	3522		昨年度整理番号	383					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	03							
令和 5年度担当課名	土木管理課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	自転車を利用する者又は所有者	根拠法令等	(1) (2)	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	駅周辺等公共の場所における自転車の放置を防止することにより、交通の安全及び円滑並びに災害時の防災活動の確保を図り、もって区民の良好な生活環境の向上に寄与することを目的とする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	撤去台数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	放置禁止区域を中心として、放置自転車の撤去、返還及び処分を行う。 放置禁止区域内での路面ステッカーの貼付及び放置禁止区域表示看板等の設置・修理を行う。 町会・自治会の会員等を自転車放置防止協力員として依頼し、放置防止活動を行う。 駅前放置自転車クリーンキャンペーンを行う。	指標説明	成果指標	自転車放置率
		指標説明	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	放置自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数【行政】 放置自転車台数 (1日平均) 放置禁止区域内の放置台数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 台	8,135	3,900	8,452	8,029	8,424	8,000	104.9	90.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	3.8	3.0	3.7	3.0	3.3	3.0	110.0	
成果指標 (2)	4 台	844	800	921	800	863	800	107.9	
事業費	5 千円	205,356	208,248	202,750	214,083	194,473	223,720	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	52,471	56,169	58,212	42,412	47,062	20,633	
	上記以外の職員	7 千円	735	735	736	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	258,562	265,152	261,698	256,495	241,535	244,353		
財源	受益者負担分	9 千円	20,580	19,500	22,690	24,150	23,630	24,950	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	20,580	19,500	22,690	24,150	23,630	24,950	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	237,982	245,652	239,008	232,345	217,905	219,403	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 378

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	放置自転車の撤去業務管理、撤去自転車の返還業務管理・処分業務委託			84,527
	放置防止指導・撤去・返還に関する業務委託	5	件	96,429
	自転車の放置防止啓発業務			13,419
	自転車放置防止協力員の活動	349	人	98
	その他 ()			
取組成果	<p>自転車の放置防止啓発活動や自転車駐車場への誘導業務を行ったほか、自転車放置防止協力員の活動等により、駅周辺の放置自転車の減少に取り組みました。また、歩行者等の通行の妨げとなっていた放置自転車を8,424台撤去しました。これらの取組により、1日当たり平均の放置自転車台数は前年度の921台と比較して、令和5年度には863台へと約6.3%減少しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区ではこれまで、放置自転車対策として、駅周辺等において指導・啓発業務や放置自転車の撤去等を継続的に実施してきました。その結果、放置自転車台数は、平成11年度のピーク時と比較して約10分の1まで減少しましたが、近年は1日当たり平均約900台の横ばいで推移しており、歩行者等の通行の妨げとなっています。また、本事業には、毎年約2億円の費用がかかっており、コストの観点からも、放置自転車の更なる減少を図る必要があります。</p> <p>放置自転車台数が横ばいで推移している主な原因としては、放置自転車を未然に防止するための指導・啓発や既存の自転車駐車場への案内・周知が十分でないことが考えられます。</p>												
課題・分析 (2 / 2)	<p>また、商店街や店舗近くへの駐車需要に対して、必ずしも止めやすい環境 (場所・費用等) が十分整っていないことも原因として考えられます。</p> <p>(参考データ)</p> <table border="1"> <tr> <td>乗入台数:</td> <td>元年度30,625台</td> <td>2年度20,492台</td> <td>3年度23,383台</td> <td>4年度24,737台</td> <td>5年度26,289台</td> </tr> <tr> <td>放置台数:</td> <td>898台</td> <td>831台</td> <td>844台</td> <td>921台</td> <td>863台</td> </tr> </table> <p>乗入台数 = 区立自転車駐車場への駐車台数 + 放置自転車台数</p>	乗入台数:	元年度30,625台	2年度20,492台	3年度23,383台	4年度24,737台	5年度26,289台	放置台数:	898台	831台	844台	921台	863台
乗入台数:	元年度30,625台	2年度20,492台	3年度23,383台	4年度24,737台	5年度26,289台								
放置台数:	898台	831台	844台	921台	863台								
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>本事業の予算は、概ね当初の予定どおり執行しています。ただし、放置自転車撤去システムの入替 (令和7年度予定) に伴うプロポーザル関連経費は未執行となる見込みです。これは、放置防止指導・撤去・返還に関する業務について、当該システムの管理・運営を含めて一体的に委託することを想定して公募型プロポーザルを実施する予定でしたが、改めて検討した結果、これまでどおり業務委託とシステムの管理・運営は別に契約することとし、プロポーザルは実施しない判断をしたためです。</p>												
事業の方向性・改善策	<p>放置自転車の未然防止を図るための指導・啓発や既存の自転車駐車場への案内・周知に係る業務委託について、契約期限が令和7年9月末であることを踏まえ、JR高円寺駅等の放置自転車が多い駅周辺における指導・啓発を重点化するなど、より効果的・効率的な委託方法への見直しを検討します。</p> <p>また、現在4か所ある自転車集積所の過去60か月分の運営状況を分析した結果、高井戸自転車集積所における放置自転車の撤去や返還台数は特に少なく、他の3か所の自転車集積所だけでも運用に支障はないことが見込まれるため、当該集積所の閉鎖を視野に入れて検討していきます。併せて、放置防止指導・撤去・返還に関する業務や自転車集積所の管理業務についてもより効果的・効率的な委託方法を検討します。</p>												

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年9月に予定している放置自転車撤去システムの入替に伴う関連経費や、高井戸自転車集積所を閉鎖することとなった場合、撤去自転車の保管場所が変わることに伴う自転車集積所の案内看板の作成経費等がコストの増加要因となります。一方、放置防止指導・撤去・返還に関する業務委託方法を効率化しコスト縮減を図ることで、事業コスト総額は現状維持を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00391)

事務事業名称	自転車等駐車対策協議会の運営			款	05	項	02	目	01	事業	005	整理番号	379
現担当課名	都市整備部管理課		係名	自転車駐車場係			連絡先電話番号	3517		昨年度整理番号	384		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成 7年度												
令和 5年度担当課名	土木管理課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	自転車等の利用者	根拠法令等	(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議し、自転車対策に関する施策に反映させることで、自転車等の利用者の安全と利便性の向上を図る。	活動指標	協議会開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民、区議会議員、学識経験者、鉄道事業者、道路管理者、交通管理者などが出席し、自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議する。	指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
		成果指標	自転車放置率
		指標名 (1)	
		指標説明	放置自転車台数 ÷ 駅乗入れ自転車台数【区民】
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	1	2	0	2	2	2	100.0	77.7
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	3.8	3.0	3.7	3.0	3.3	16.0	110.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	201	475	5	475	369	501	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,744	3,833	3,825	4,159	5,023	2,511	協議会の出席率の影響により、委員報酬の支出が減少し、執行率が低くなっています。成果指標についてはこれまで、自転車放置率を採用していましたが、令和 6年度からは自転車等駐車対策協議会の意見を聴いて令和 5年度に策定した「杉並区自転車活用推進計画」の指標に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,945	4,308	3,830	4,634	5,392	3,012		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	2,945	4,308	3,830	4,634	5,392	3,012		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 379

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	委員報酬		2	回
	謝礼金	2	回	26
	筆耕翻訳料	2	回	86
	その他 ()			
取組成果	協議会を予定通り2回開催し、杉並区の放置自転車対策の概要説明、杉並区自転車活用推進計画に関する報告を行いました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>放置自転車台数は、協議会の意見を踏まえて策定した自転車利用総合計画に基づく取組等により、即時撤去が可能となった平成5年改正自転車法施行前の平成4年度の11,946台から令和5年度は1/10以下の863台となり、大きな成果を上げています。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの影響で令和2年度には過去最低の831台まで下がりましたが、その後は緩やかに増加傾向にあります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	協議会は令和6年度も計画通り2回開催する予定です。今年度1回目は「杉並区自転車活用推進計画の取組」等を報告案件とし、9月10日の開催を予定しています。
事業の方向性・改善策	引き続き、放置防止啓発活動や撤去活動を着実に実施し、自転車等駐車対策の課題解決のため、協議会を開催していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>「杉並区自転車利用総合計画」を包含する「杉並区自転車活用推進計画」を令和5年度に策定しました。これを受け、今後本協議会においては、自転車活用の視点でも調査・審議することを検討していきます。令和7年度は本協議会で、区立自転車駐車場の管理運営の見直しについて、重点的に議論していく予定です。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00392)

事務事業名称	自転車駐車場等整備				款	05	項	02	目	01	事業	006	整理番号	380	
現担当課名	都市整備部管理課		係名	自転車駐車場係		連絡先電話番号	3517		昨年度整理番号	385					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	投資事業					
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	03							
令和 5年度担当課名	土木管理課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 自転車等の利用者	根拠法令等 (1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自転車駐車場を整備し、自転車の放置を防止することで、良好な生活環境を整える。また、自転車やバイクの駐車場が不足している駅周辺においては、民営駐車場の建設を促進する。	活動指標 指標名 (1) 自転車駐車場等の整備台数 指標説明 有料制自転車駐車場、自転車置場等の整備台数 指標名 (2) 民営自転車駐車場への建設費補助整備台数 (累計) 指標説明
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 自転車駐車場用地を確保し、整備を行う。新たに民営 (自転車・バイク) 駐車場を設置する者に対し、その建設費や運営経費 (バイクは除く) の一部を補助する。	成果指標 指標名 (1) 放置自転車台数 (1日平均) 指標説明 放置禁止区域内の放置台数【行政】 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 台	26,360	26,345	26,256	26,010	25,950	21,732	99.8	67.7
活動指標 (2)	2 台	2,513	2,585	2,513	2,585	2,513	2,603	97.2	
成果指標 (1)	3 台	888	800	921	800	863	800	107.9	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	65,039	60,555	56,330	29,901	20,237	109,963	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	4,918	5,502	5,655	4,159	4,688	7,585	令和 5年度は久我山西自転車駐車場の拡張用地を購入をした令和 4年度と比べ、事業費が減少しています。また、久我山西自転車駐車場拡張工事の落札率による影響等で執行率が低くなっています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	69,957	66,057	61,985	34,060	24,925	117,548		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	5,000	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,000	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	64,957	66,057	61,985	34,060	24,925	117,548	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 380

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	民間自転車駐車場育成補助 (管理費)		3	か所
	久我山西自転車駐車場拡張工事	1	か所	19,751
	その他 ()			
取組成果	<p>民間自転車駐車場育成事業は、2 駅 3 か所 (阿佐ヶ谷駅、久我山駅) の管理費補助を行いました。また、久我山西自転車駐車場の拡張工事を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>子供乗せ自転車など大型自転車の増加に伴い、大型自転車用駐車スペースの増設や効率的で使いやすいラックの設置など、利用者の要望や需要に対応していく必要があります。</p> <p>また、令和 5 年度に策定した杉並区自転車活用推進計画に基づき、自転車をより停めやすい環境を整備するため、民間事業者の協力を得ながら、小規模点在型の駐車スペースの確保に向け、取り組む必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>民間自転車駐車場育成補助事業は、建設費補助 1 件、管理費補助 2 件の交付申請を受理しています。</p> <p>また、令和 7 年度に開設予定の仮称南阿佐ヶ谷第 4 自転車駐車場整備に向け、旧職員会館解体工事に着手しました。令和 7 年度当初に自転車駐車場整備工事の発注を行えるよう、6 年度末までに設計業務を進めていきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>子ども乗せ自転車などの大型自転車の増加に伴い、大型自転車用駐車スペースの増設を図り、利用者の要望や需要に対応していく必要があります。</p> <p>民間自転車駐車場の整備は、駅周辺における収容台数の確保に有効なことから、今後も育成補助事業の周知を行うなど、普及促進を図ります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和 5 年度に策定した杉並区自転車活用推進計画に基づき、民間事業者との協働による小規模点在型の自転車駐車場の確保や、民間自転車駐車場の動向を注視しつつ、引き続き、鉄道事業者との連携や、民間事業者への区の補助金を活用した自転車駐車場の整備を働きかけていきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00415)

事務事業名称	街路灯の維持補修		款	05	項	03	目	04	事業	001	整理番号	403
現担当課名	杉並土木事務所		係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	408	
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和35年度											
令和 5年度担当課名	杉並土木事務所						事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区道利用者	根拠法令等	(1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 道路法第2条第2項、16条、42条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区道において既設街路灯を適正な状態に維持管理することにより、区道の安全性を維持する。	活動指標	街路灯管理数
		指標名 (1)	街路灯の年間管理灯数
		指標説明	街路灯の年間管理灯数
		指標名 (2)	街路灯修理件数
		指標説明	街路灯の年間修理件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○故障や破損した街路灯を修理する。 ○老朽化した街路灯を塗装する。 ○街路灯の電気料を支払う。	成果指標	街路灯修理率
		指標名 (1)	街路灯修理率
		指標説明	年間で修理が発生した街路灯の割合 街路灯修理件数 ÷ 街路灯管理灯数 × 100【行政】
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	25,466	25,496	25,469	25,499	25,495	25,525	100.0	93.4
活動指標 (2)	2 件	782	1,020	516	1,020	402	385	39.4	
成果指標 (1)	3 %	3	4	2	4	2	2	50.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	151,731	165,365	153,777	194,157	181,343	115,817	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,326	12,242	12,140	13,388	13,779	0	事業費はLED化が進展したことにより、蛍光灯ランプや水銀ランプの一斉取替の対象がなかったため、縮減となりました。成果指標の街路灯稼働率については、事業の成果を表す指標として適さなため削除しました。
	上記以外の職員	7 千円	1,838	1,838	1,839	1,839	1,904	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	165,895	179,445	167,756	209,384	197,026	115,817		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	165,895	179,445	167,756	209,384	197,026	115,817	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 403

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	街路灯の故障修理委託		402	件
	光熱水費の支出			115,772
	蛍光ランプ等の一斉取替	207	灯	8,105
	水銀ランプ等の一斉取替	314	灯	29,055
	その他 (ポール等の塗装、破損修理)			16,237
取組成果	既設街路灯の予防保全として、蛍光ランプの一斉取替、水銀ランプの一斉取替、ポール等の塗装を行いました。また事後保全として、故障修理、破損修理を行いました。これらにより、年間を通じて街路灯の維持管理に取り組みました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	街路灯のLED化が進んだことにより、球切れなどの修理件数は減少し、街路灯修理率は年々減少しています。しかし、街路灯の故障が発生すると、夜間における区道の安全な通行に影響を与えるため、できる限り速やかな対応が求められます。職員による巡回のほか、AI自動応答システムなどによる区民からの通報も活用しながら、引き続き街路灯の維持補修に努めていく必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	街路灯の故障修理、破損修理、職員による日常的な巡回、AI自動応答システムの活用により、既設街路灯の維持補修に取り組みました。また年度末までは、これら取り組みに加え、ポール等の塗装を行います。 予算執行状況については、現時点までは概ね計画通りに推移しており、年度末においては、概ね予算額の執行を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	街路灯の故障修理については、LEDが長寿命であるため、減少が期待されるものの、初期型LED器具の故障発生について予測ができない面があります。また破損修理については、発生原因が外的要因によるものがあり、予測ができない面があります。これらについては、引き続き速やかな対応が求められます。街路灯の安定した点灯のために、本事業は今後も継続していく必要があります。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	LEDが長寿命であるため、LED化が進んだことにより、故障修理は減少が見込まれます。一方、破損修理、ポール塗装については、長期的な街路灯維持のため、引き続き対応が必要となります。事業コストの方向性は縮小を見込んでいますが、事業としては今後も継続していく必要があります。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00416)

事務事業名称	街路灯の新設・改修			款	05	項	03	目	04	事業	002	整理番号	404
現担当課名	杉並土木事務所		係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	409		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	投資事業				
事業開始	昭和35年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	05					
令和 5年度担当課名	杉並土木事務所							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区道利用者	根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第281条の2第2項 道路法第2条第2項、16条、42条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区道において街路灯の新設と既設街路灯の改修を行うことにより、区道の安全性を向上させる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	街路灯新設数 街路灯の年間新設灯数 街路灯改修数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民からの要望や職員による現地確認に基づき、必要な箇所に街路灯を新設する。既設街路灯をCO2排出量が少なく、長寿命で高効率なLED街路灯へ改修する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	街路灯のLED照明への年間改修灯数 交通の安全性が良いと感じている区民の割合 区民意向調査による【区民】【上昇を目指す】 街路灯LED化率 LED街路灯数 ÷ 街路灯管理数値 × 100【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 灯	17	30	14	30	22	30	73.3	84.7
活動指標 (2)	2 灯	2,892	1,040	1,570	1,040	954	495	91.7	
成果指標 (1)	3 %	21.7	0.0	21.7	0.0	22.7	0.0	0.0	
成果指標 (2)	4 %	85.4	89.4	92.5	96.5	96.8	98.6	100.3	
事業費	5 千円	245,383	221,578	188,440	221,044	187,184	132,296	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	19,501	15,580	15,467	14,885	15,286	0	事業費はLED化が進展したことにより、LED化対象数を見直したため、縮減となりました。執行率は街路灯器具改修工事の予定額と落札額に差があり、工事請負費に執行残が生じたため、低くなりました。成果指標 (1) は区民意向調査にて、交通の安全性が良いと感じている区民の割合に変更しました。成果指標 (2) は街路灯改修率から、事業の成果を表す指標として、LED化率へ変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	264,884	237,158	203,907	235,929	202,470	132,296		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	264,884	237,158	203,907	235,929	202,470	132,296	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 404

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	街路灯の新設	22	灯	9,449
	街路灯の改修	954	灯	177,735
	その他 ()			
取組成果	<p>街路灯の新設については、区民からの要望に基づき16灯、水路の開通に伴い6灯の街路灯を新設しました。</p> <p>街路灯の改修については、954灯の既設街路灯をLED化しました。その結果、LED化率は96.8%となりました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>街路灯の新設については、区道の全路線で概ね設置が完了しているものの、電柱移設などの影響による不均衡に対し、設置基準に照らし合わせ、必要と判断される街路灯を新設していく必要があります。これにより、更なる区道の交通の安全性向上を図っていきます。</p> <p>街路灯の改修については、LED化が概ね計画どおりに進展しています。引き続き令和8年度の10%完了に向け、進捗管理に努める必要があります。また今後はLED化初期の器具における経年劣化による故障に備え、計画的な器具更新を検討していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>街路灯の新設については、現時点までに年計画数の4割を行いました。また年度末までには、概ね計画数の新設を見込んでいます。</p> <p>街路灯の改修については、年度前期の発注工事において、概ね計画数の改修を行い、また年度後期の発注工事においても、概ね計画数の改修を見込んでいます。</p> <p>予算執行状況については、街路灯の新設及び改修ともに、現時点までは概ね計画通りに推移しており、年度末においては、概ね予算額の執行を見込んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>街路灯の新設については、電柱移設などへの対応の他、商店街による装飾灯撤去に伴う新設要望が増えています。区道の照度を確保するため、適切かつ必要な箇所への街路灯の新設が求められています。</p> <p>街路灯の改修については、各現場状況に応じた細やかな工事設計と施工管理に努めながら、LED化を着実に進めていく必要があります。</p> <p>本事業は、実行計画に基づき、今後も継続していく必要があります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>街路灯の新設は、区民要望の他、電柱移設などの影響による不均衡は正や商店街装飾灯の撤去に伴うものなど、予測が難しい部分がありますが、来年度は現年度と同じ計画数を見込んでいます。</p> <p>街路灯の改修は、今年度で高効率蛍光灯のLED化が完了予定のため、全体としては予定数の減少を見込んでいます。</p> <p>事業コストの方向性は縮小を見込んでいますが、事業としては今後も継続していく必要があります。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00417)

事務事業名称	民有灯の助成（維持補修）	款	05	項	03	目	04	事業	003	整理番号	405	
現担当課名	杉並土木事務所	係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	410		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備					予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和46年度											
令和 5年度担当課名	杉並土木事務所					事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	私道利用者	根拠法令等	(1) (2)	地方自治法第232条の2 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	私道街路灯を適正な状態に維持管理することにより、私道の安全性を維持する。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	私道街路灯修理件数 私道街路灯の年間修理件数 電気料助成灯数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	町会や自治会等からの申請に基づき、助成として以下を行う。 故障や破損した私道街路灯を修理する。 ○老朽化した私道街路灯を塗装する。 ○私道街路灯の電気料を支払う。	指標説明	成果指標	私道街路灯の年間電気料助成灯数
		成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	私道街路灯修理率 年間で修理が発生した私道街路灯の割合 私道街路灯修理件数 ÷ 私道街路灯助成灯数 × 100 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	376	585	299	586	169	160	28.8	92.3
活動指標 (2)	2 灯	8,350	8,370	8,345	8,365	8,358	8,378	99.9	
成果指標 (1)	3 %	5	7	4	7	2	2	28.6	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	78,927	99,815	90,576	96,156	88,800	64,824	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,340	5,924	5,823	5,407	5,525	0	事業費は電気料が国による価格変動緩和対策により低減されたため、縮減となりました。成果指標 (2) の電気料助成率については、事業の成果を表す指標として適さなため削除しました。
	上記以外の職員	7 千円	1,838	1,838	1,839	1,839	1,904	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	86,105	107,577	98,238	103,402	96,229	64,824		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	86,105	107,577	98,238	103,402	96,229	64,824	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 405

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	私道街路灯故障修理委託	169	件	5,770
	光熱水費の支出			47,725
	民有灯の補修 (蛍光ランプ等の一斉取替)	1,975	灯	26,519
	私道街路灯の維持補修工事 (破損修理、ポール等の塗装)			5,830
	その他 (一般需用費、役務費)			2,956
取組成果	町会や自治会等からの申請に基づき、既設私道街路灯の予防保全として、蛍光ランプ等の一斉取替、ポール等の塗装を行いました。また事後保全として、故障修理、破損修理を行いました。これらにより、年間を通じて私道街路灯の維持管理に取り組みました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	私道街路灯は67.7%がLED化されたものの、区道街路灯に比べ進展は遅くなっています。このためLEDに比べ故障の発生が想定される蛍光灯器具が多く残っているため、私道街路灯の安定した点灯のため、職員による巡回のほか、AI自動応答システムなどによる区民からの通報も活用しながら、引き続き私道街路灯の維持補修に努めていく必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	私道街路灯故障修理、破損修理、職員による日常的な巡回、AI自動応答システムの活用により、既設街路灯の維持補修に取り組みました。また年度末までは、これら取り組みに加え、蛍光ランプ等の一斉取替、ポール等の塗装を行います。 予算執行状況については、現時点までは概ね計画通りに推移しており、年度末においては、概ね予算額の執行を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	私道街路灯故障修理については、LEDが長寿命であるため、減少が期待されるものの、LEDに比べ故障の発生が想定される蛍光灯器具も一定数残っています。また破損修理については、発生原因が外的要因によるものがあり、予測ができない面があります。これらについては、引き続き速やかな対応が求められます。私道街路灯の安定した点灯のために、本事業は今後も継続していく必要があります。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	LED化が進んだことにより、蛍光ランプ等の一斉取替は対象がなくなる見込みです。またLEDが長寿命であるため、故障修理は減少が見込まれます。一方、破損修理、ポール塗装については、長期的な街路灯維持のため、引き続き対応が求められます。 事業コストの方向性は縮小を見込んでいますが、事業としては今後も継続していく必要があります。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00418)

事務事業名称	民有灯の助成（建設補助）			款	05	項	03	目	04	事業	004	整理番号	406
現担当課名	杉並土木事務所		係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	411		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	投資事業				
事業開始	昭和46年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	05					
令和 5年度担当課名	杉並土木事務所							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	私道利用者	根拠法令等	(1) 地方自治法第232条の2 (2) 杉並区民有灯の整備等に関する条例及び施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	私道において街路灯の新設と既設街路灯の改修を行うことにより、私道の安全性を向上させる。	活動指標	私道街路灯新設数
		指標名 (1)	私道街路灯の年間新設灯数
		指標説明	私道街路灯のLED照明への年間改修灯数
		指標名 (2)	私道街路灯のLED化率
		指標説明	LED私道街路灯数 ÷ 私道街路灯助成灯数 × 100【行政】
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区民、町会や自治会等からの申請に基づき、助成として以下を行う。 私道に街路灯を新設する。 既設私道街路灯をCO2排出量が少なく長寿命で高効率なLED街路灯へ改修する。	成果指標	私道街路灯整備率
		指標名 (1)	私道街路灯助成灯数 × 30(m) ÷ 私道総延長(m) × 100【行政】
		指標説明	私道街路灯LED化率
		指標名 (2)	LED私道街路灯数 ÷ 私道街路灯助成灯数 × 100【行政】
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 灯	9	20	11	20	15	20	75.0	88.3
活動指標 (2)	2 灯	552	1,090	906	1,090	844	1,090	77.4	
成果指標 (1)	3 %	82.1	82.3	82.0	82.1	82.0	82.2	99.9	
成果指標 (2)	4 %	40.0	52.9	56.9	69.8	67.8	80.6	97.1	
事業費	5 千円	39,009	94,695	79,019	94,695	83,652	98,241	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,253	5,590	5,573	5,324	5,441	0	執行率は私道街路灯器具改修工事の予定額と落札額に差があり、工事請負費に執行残が生じたため低くなりました。 成果指標 (1) は全私道に対し私道街路灯が整備された割合を表す指標に変更しました。 成果指標 (2) は事業の成果を表す指標として、LED化率へ変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	41,262	100,285	84,592	100,019	89,093	98,241		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	41,262	100,285	84,592	100,019	89,093	98,241	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 406

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	私道街路灯の新設	15	灯	4,439
	私道街路灯の改修	844	灯	79,213
	その他 ()			
取組成果	<p>私道街路灯の新設については、区民からの申請に基づき15灯の設置助成を行いました。私道街路灯整備率については、私道総延長が延びたことで昨年度と同じ82.0%となりました。</p> <p>私道街路灯の改修については、町会や自治会等からの申請に基づき844灯のLED化を助成しました。その結果、LED化率は67.8%となりました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>私道街路灯の新設については、区民からの申請に速やかに対応していく必要があります。</p> <p>私道街路灯の改修については、現在は蛍光灯からのLED化を実施しております。令和5年度のLED化率は目標値の69.8%に届きませんでした。今後は実行計画に基づき、令和8年度の100%完了に向け、着実な進捗管理を徹底していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>私道街路灯の新設については、区民からの申請に基づき行っています。現時点までに年計画数の2割の申請を受け付け、新設を行いました。今後の新設数は区民からの申請に依存しますが、年度末までには、概ね計画数の新設を想定しています。</p> <p>私道街路灯の改修については、年度前期の発注工事において、概ね計画数の改修を行い、また年度後期の発注工事においても、概ね計画数の改修を見込んでいます。</p> <p>予算執行状況については、私道街路灯の新設及び改修ともに、現時点までは概ね計画通りに推移しており、年度末においては、概ね予算額の執行を見込んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>私道街路灯の新設については、個々の私道に対する申請の他、商店街装飾灯の撤去等に伴うまとまった申請も増えています。私道の安全性を向上させるため、助成基準に適合する私道への、申請を通じた街路灯の新設が必要です。</p> <p>私道街路灯の改修については、各現場状況に応じた細やかな工事設計と施工管理に努めながら、LED化を着実に進めていく必要があります。</p> <p>本事業は実行計画に基づき、今後も継続していく必要があります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>私道街路灯の新設は、区民からの申請に基づくため、予測ができない面がありますが、来年度は現年度と同じ計画数を見込んでいます。</p> <p>私道街路灯の改修は、令和8年度のLED化完了に向け、実行計画に基づき行っていきます。来年度は現年度と同じ計画数を見込んでいます。</p> <p>このため事業コストの方向性は現状維持を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00419)

事務事業名称	交通安全運動の推進				款	05	項	03	目	05	事業	001	整理番号	407	
現担当課名	都市整備部管理課		係名	交通企画係		連絡先電話番号	4635		昨年度整理番号	412					
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和40年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	02							
令和 5年度担当課名	杉並土木事務所								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民及び道路利用者、各署交通安全協会、杉並区交通安全協議会、各地域交通安全活動推進委員協議会	根拠法令等 (1) 交通安全対策基本法 (2) 地方自治法第232条の2
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故発生件数を減少させる。幅広い年齢層にむけ自転車安全利用講習会等を開催し自転車事故を減少させる。	活動指標 指標名 (1) 交通安全啓発活動を実施した回数 指標説明 交通安全のつどい・街頭キャンペーン等 指標名 (2) 自転車安全利用等講習会開催数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	交通安全啓発活動および啓発用品の配布を行う。区立小学校4年生を対象に自転車教室を実施し、自転車安全利用証を交付する。中学生を対象としたスタントマンを利用した自転車安全教室を実施する。一般を対象とした出前型の交通安全教室を実施する。ナビライン設置など自転車通行空間を整備する。交通安全協会等への補助金を交付する。	指標説明 自転車安全利用実技講習会・スタントマンによる自転車安全利用講習会・出前型自転車交通安全講習会等 成果指標 指標名 (1) 交通事故件数 指標説明 交通事故件数【社会】 杉並区の交通事故概要より 指標名 (2) 自転車関与事故件数 指標説明 区市町村別各種交通事故発生状況 (警視庁)【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	15	0	82	0	48	25	0.0	96.5
活動指標 (2)	2 回	55	0	67	0	70	55	0.0	
成果指標 (1)	3 件	887	804	893	787	1,021	841	129.7	
成果指標 (2)	4 件	402	351	419	344	526	458	152.9	
事業費	5 千円	52,983	46,285	43,036	67,923	65,527	21,459	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	13,849	10,429	9,150	10,643	11,319	13,069	組織改正に伴う所管事業の変更及び補助事業の終了に伴い、事業費が減となっています。 令和5年度より活動指標及び成果指標を変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	3,675	5,513	3,678	3,678	3,807	1,142	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	70,507	62,227	55,864	82,244	80,653	35,670		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	70,507	62,227	55,864	82,244	80,653	35,670	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 407

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	交通安全啓発活動	48	回	9,175
	自転車ヘルメット購入費助成	7,416	個	22,454
	スタントマンによる交通事故再現型講習会の開催	10	回	2,419
	自転車通行空間整備	3,190	m	26,417
	その他 (自転車交通量調査委託ほか)			5,062
取組成果	<p>警察署、交通安全協会等と協力し、区内各所で交通安全啓発キャンペーン、自転車安全利用講習会、ヘルメット着用促進協働型講習会等を実施しました。また、ヘルメットの着用率向上のため、ヘルメット購入費の助成制度を創設し、併せてヘルメット着用促進講習会等を実施しました。</p> <p>交通事故再現型講習会を通して、区立中学校 (8校) の生徒に対して交通事故の危険性や自転車の交通ルールについて周知しました。また、安全で快適な自転車利用環境をつくるため、自転車通行空間を3,190m整備しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和3年度以降、交通事故件数は増加傾向にあります。一方で、令和2年から令和4年を除くと、事故件数は減少しており、これまで継続的に実施してきたソフト対策による取組は一定の成果があったものと考えられます。今後は、より効果的な手法について検討し、効率的に啓発活動を実施する必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>近年、区内の自転車関与事故件数は増加しています。また、区内における交通事故発生件数全体に占める自転車関与事故割合は年々上昇しており、令和5年に発生した交通事故の半数以上は自転車関与事故です。</p> <p>その主な要因は、自転車利用者において、車道左側通行の原則や歩道は歩行者優先等の交通ルールが十分浸透していないことのほか、自転車の手軽さから交通ルールを順守する意識が必ずしも高くないことが考えられます。また、歩行者や自転車利用者等に対して、思いやりのある自転車運転をする風土が醸成されていないことも課題であると考えられます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>交通事故防止に関する取組については、これまでのソフト対策を継続して実施しています。また、第12次杉並区交通安全計画の策定に向けた検討を実施するため、既存組織の在り方や連携手法を見直すとともに、次年度の検討体制について、隣接区の実態調査等を実施しました。</p> <p>区立中学校3校で交通事故再現型講習会を実施したほか、区内私立高校や事業所等において、出前型自転車講習会を3回実施し参加者の安全意識の向上を図りました。また、これまで駅周辺を中心に選定していた自転車ネットワーク路線を区内全域に広げるため、有識者、国・都及び警察署による懇談会や各地域において意見聴取を行いました。予算は概ね当初の予定どおり執行していますが、自転車ネットワーク路線の選定に係る業務委託費については、委託内容を検討中です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>効果的な啓発活動を行うため、担当課内他の係で実施するイベントに合わせた周知等、係間で連携した取組を実施します。</p> <p>区内の自転車関与事故の減少を図るため、自転車安全利用講習会や交通安全キャンペーンなどについて、改正道路交通法の施行や国の官民協議会による交通安全教育の検討状況を踏まえ、区内警察署や地域と連携を図りながら、より効果的な実施方法を検討します。また、年度内を別途に区内全域を対象とした自転車ネットワーク路線の選定に向けた検討を進めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>これまで実施してきた交通事故防止に向けた啓発活動を継続して実施していくため、交通安全協会等関係する団体への支援を実施するとともに、第12次交通安全計画策定に向けた検討を実施するための予算を計上します。</p> <p>実行計画で令和7年度に予定している、区独自のドライバー向け路面標示の設置に係る実証実験について、設置費用や効果検証に伴う費用等がコスト増の要因となる見込みです。一方、講習会の開催時等に配布している自転車交通安全の啓発用パンフレットや各種グッズについては、より効果的な内容や必要部数 (個数) 等を精査していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00420)

事務事業名称	交通安全施設の維持補修			款	05	項	03	目	05	事業	002	整理番号	408
現担当課名	杉並土木事務所		係名	交通安全係			連絡先電話番号	4635		昨年度整理番号	413		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和36年度												
令和 5年度担当課名	杉並土木事務所							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区が管理する道路の利用者	根拠法令等 (1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 道路法第42条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	交通安全施設の機能保持のため、施設維持管理及び補修を行い、道路利用者の安全を確保する。	活動指標 指標名 (1) 交通安全施設の補修件数 指標説明 指標名 (2)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	老朽化及び車両衝突等により破損した交通安全施設の補修を行う。 自発光式交差点鏡 (太陽電池式・配電式) の清掃を行うとともに配電式の電気料金を支払う。	成果指標 指標名 (1) 交通事故の減少件数 指標説明 前年事故件数 - 当年事故件数【社会】 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	519	500	461	500	410	500	82.0	99.5
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 件	49	17	6	17	128	52	752.9	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	58,954	62,394	61,833	65,437	65,102	70,335	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	14,183	14,016	12,311	11,645	12,389	0	コロナ禍において交通事故件数は、減少傾向にありました。コロナ収束に向かうに従い、交通事故件数は増加しました。令和5年度は交通事故件数が増加に転じた結果、対計画比は大きくなりました。そのため、令和6年度より減少件数の計画値を52件と大きく見直しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	919	1,839	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	73,137	77,329	75,983	77,082	77,491	70,335		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	73,137	77,329	75,983	77,082	77,491	70,335	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 408

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	道路反射鏡等補修 (道路反射鏡、防護柵、標識の修理ほか)	410	件	61,930
	交通安全施設清掃委託等 (自発光式交差点鈺)	755	基	2,056
	自発光式交差点鈺電気料金の支出	1	基	8
	その他 (維持管理用品費ほか)			1,108
取組成果	区内小学校において、警察、学校、PTAと合同の通学路点検を実施し、薄くなった区画線の引き直しや路面ステッカー、すべり止め舗装などの補修を実施しました。防護柵や道路反射鏡など車両事故による緊急補修の実施、特に車両の接触による道路反射鏡の鏡面向き直しが多い状況です。自発光式道路鈺は、全箇所(point)の点検及び清掃を実施しました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	道路反射鏡の鏡面が破損している場合は耐久性に優れているステンレス面に変更するなど、耐久性の高い製品を活用し、歩行者などの安全を確保する必要があります。さらに、交通安全施設の破損に起因する交通事故を未然に防ぐため、引き続き職員や日常等保全業務委託による巡回のほか、道路損傷等投稿アプリ「マイシティレポート」等へ寄せられる区民からの通報も活用しながら、交通安全施設の状態を確認し、補修を要するものについては早急に対応していく必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	区内小学校において、警察署、学校、PTAと合同の通学路点検を実施し、薄くなった区画線の引き直しや路面ステッカー、すべり止め舗装などの補修を実施しました。防護柵や道路反射鏡などの車両事故による緊急補修の実施、特に車両による道路反射鏡の鏡面向き直しが多い状況です。自発光式交差点鈺は、全箇所(point)の点検及び清掃を実施しました。引き続き、年度末に向けて通学路点検の実施及び各交通安全施設の補修を実施します。予算執行状況については、スケジュール管理をしながら進めており、年度末に向けて着実に執行します。
事業の方向性・改善策	破損施設の迅速な補修や老朽化した施設の補修等を実施することで、道路利用者の安全を確保していきます。また、施設の補修の際には耐久性に優れた部材への変更や施設の小型化を図るなど、効率的な維持管理を行っていきます。また、職員や日常等保全業務委託による巡回のほか、道路損傷等投稿アプリ「マイシティレポート」等へ寄せられる区民からの通報も活用しながら、交通安全施設の補修や適正な維持管理を行っていきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	破損施設の迅速な補修や老朽化した施設の補修等を実施することで、道路利用者の安全を確保していきます。また、施設の補修の際には耐久性に優れた部材への変更や施設の小型化を図るなど、効率的な維持管理を行っていきます。自発光式交差点鈺については、年に一度、点検及び清掃を実施し、施設の健全性確保に努めていきます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00421)

事務事業名称	交通安全施設の整備			款	05	項	03	目	05	事業	003	整理番号	409
現担当課名	杉並土木事務所		係名	交通安全係			連絡先電話番号	4635		昨年度整理番号	414		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	投資事業				
事業開始	昭和36年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	04					
令和 5年度担当課名	杉並土木事務所							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区が管理する道路の利用者	根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第281条の2第2項 道路法第45条、第85条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	交通安全施設を整備・拡充させることにより、交通事故の防止及び減少を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	道路反射鏡の整備数 (実計数値) 道路反射鏡の新設・改良数 視覚障害者誘導用ブロックの整備数 (実計数値) 視覚障害者誘導用ブロックの新設・改良数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	道路反射鏡、自発光式交差点鉾、防護柵等の施設を、区域別に順次改修等を行うなど、適切に整備を実施する。 道路標識及び道路反射鏡は、道路付属物維持管理指針に基づき、計画的な更新を図るとともに案内標識等の改修に併せて表示内容の英語併記化を図る。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	道路反射鏡新設 (箇所) 交差点部等安全対策のため、道路反射鏡を設置した箇所 駅周辺でバリアフリーが行き届いていると感じる区民割合【区民】【上昇を目指す】 区民意向調査による【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 基	108	118	96	118	95	118	80.5	93.9
活動指標 (2)	2 基	821	600	403	600	263	600	43.8	
成果指標 (1)	3 箇所	28	35	37	35	29	35	82.9	
成果指標 (2)	4 箇所	3.4	0	4.0	0	2.0	0	0.0	
事業費	5 千円	137,680	165,364	157,785	192,215	180,431	229,047	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	38,750	42,254	37,588	36,678	39,060	0	成果指標 (1) は交通安全対策の成果、成果指標 (2) はバリアフリー化による杉並区区民意向調査の結果を成果を表す指標としました。 令和 6年度の道路反射鏡新設数は実行計画の新設・改良数のうち新設分としました。
	上記以外の職員	7 千円	0	919	1,839	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	176,430	208,537	197,212	228,893	219,491	229,047		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	176,430	208,537	197,212	228,893	219,491	229,047	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 409

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	道路反射鏡新設・改良	95	基	44,919
	自発光式交差点舗新設・改良	35	基	8,705
	視覚障害者誘導ブロック新設・改良	263	枚	6,205
	道路案内標識改良	1	基	4,937
	その他 (すべり止め舗装新設・改良ほか)			115,665
取組成果	<p>道路附属物維持管理指針により予防保全のため、道路反射鏡 (57基) 道路案内標識 (1基) 地点名標識 (8枚) の更新を行いました。標識等の改修に合わせて表示内容の英語併記化を行いました。それ以外の交通安全施設については、区域別に順次改修等の整備を行ったほか、令和5年は道路標識等の現状を把握するため、道路標識点検及び道路附属物維持管理指針【道路標識編】を実施しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>道路反射鏡及び道路案内標識は、道路附属物管理指針により予防保全のため更新を行いました。道路反射鏡は交差点で見通しを確保し安全を補完する一方で、設置に適している箇所は住宅など出入口に面していることも多く、日常生活に影響を及ぼすこともあります。道路反射鏡の設置においては、電柱に共架することにより出入りに支障を最小限によるほか、出入口付近に設置する場合は、近隣住民に丁寧な説明と理解を得る必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>道路反射鏡、道路案内標識、地点名標識は、実行計画に基づき計画的に更新を実施します。また、地点名標識等の改修に合わせて表示内容の英語併記化を実施します。それ以外の交通安全施設については、年度末に向けて順次新設及び改修等の整備を実施します。予算の執行状況については、スケジュール管理をしながら進めており、年度末に向けて着実に執行します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>交通安全施設の更新は、実行計画に基づき、計画的かつ効率的に進めていきます。また、外国人にもわかりやすい表示とするため道路案内標識改修に併せて表示内容の英語併記化を図ります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>交通安全施設は、実行計画及び道路附属物維持管理指針に基づき、予防保全のための更新を進めていきます。また、外国人にもわかりやすい表示とするため道路案内標識改修に併せて表示内容の英語併記化を図ります。さらに、杉並区自転車活用推進計画の自転車ネットワーク路線に選定された路線の自転車通行空間整備を進めていきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00422)

事務事業名称	南北バスの運行			款	05	項	03	目	05	事業	004	整理番号	410
現担当課名	都市整備部管理課		係名	交通企画係			連絡先電話番号	3514		昨年度整理番号	415		
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度							主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	都市整備部管理課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住者、通勤・通学者、来訪者	根拠法令等	(1) 杉並区南北バス運行協定書 (2) 道路運送法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	南北バス「すぎ丸」の魅力を高めるため、運行環境等を整備する。 ○南北バス「すぎ丸」の利用促進を図る。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	南北バス「すぎ丸」運行本数 3路線 (けやき路線・さくら路線・かえて路線) の年間運行本数の合計 モビリティ・マネジメントの実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	南北バス「すぎ丸」3路線を継続して運行するため、運行事業者と協定を締結し支援を実施する。 ○「すぎ丸の日」等のイベントにおいて、すぎ丸の利用促進を図る。 ○利用状況に応じた運行計画等への見直しを検討する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	公共交通の利用促進に向けた普及啓発活動実施回数。 (すぎ丸の日・小学校等での交通環境学習等) 南北バス「すぎ丸」年度総利用者数 運行事業者の決算資料による【行政】 南北バス「すぎ丸」の収支率 3路線の運行収入の合計 / 3路線の運行経費の合計【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 本	79,304	79,364	79,316	79,400	79,461	79,110	100.1	96.1	
活動指標 (2)	2 回	0	0	0	0	3	4	0.0		
成果指標 (1)	3 人	946,290	1,190,000	1,021,539	1,160,209	1,079,798	1,160,209	93.1		
成果指標 (2)	4 %	61.8	74.4	68.0	74.4	64.5	74.4	86.7		
事業費	5 千円	86,486	90,861	76,965	128,340	123,306	102,047	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	19,022	8,343	10,231	8,318	11,217	12,557	令和 6年度はバス車両の購入がないため事業費は減となっています。 令和 5年度から活動指標を追加しています。また、追加した指標については令和 5年 3月に策定された杉並区地域公共交通計画に基づく取組であるため、数値の記載は令和 5年度からとなっています。	
	上記以外の職員	7 千円	0	1,838	1,839	1,839	1,904	1,142		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	105,508	101,042	89,035	138,497	136,427	115,746			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	19,833	20,666	0		
	その他の補助金等	11 千円	4,365	0	0	4,465	4,468	100		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,365	0	0	24,298	25,134	100		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	101,143	101,042	89,035	114,199	111,293	115,646		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 410

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)	
	既存路線の運行 (運行経費)		3	路線	89,996
	既存路線の運行 (啓発・PR)		3	路線	310
	EV車両購入		1	台	33,000
	その他 ()				
取組成果	<p>既存のバス車両の買い替えに合わせて、環境にやさしい電気バスを購入しました。 また、すぎ丸の魅力を高め、持続可能な運行に向けた検討を進めるための再設計を実施するため、調査員による乗降調査を実施し、現状の利用状況を把握しました。 「すぎ丸の日」等を活用した普及啓発活動を実施し、利用者促進を図ることで、利用者数は増加しています。</p>				

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>利用者は徐々にコロナ禍前の数字まで回復してきましたが、人件費を含む運行経費が増加したため、補助金額も増加しました。今後は、より効率的な運行ができるよう、乗降データを基にした運行計画の抜本的な見直しの検討が必要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>運転手不足により、民間のバス路線では減便等が実施されています。この現状を踏まえ、すぎ丸の路線を維持し運行していくためには、イベント等における運転手募集の支援を実施するなど、運行事業者と協働して既存交通を守っていく取組が必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>かえで路線については、より利便性を高めるため、回送車を活用した運行を実施しました。また、バス停留所の利用環境向上のため、上屋の清掃を実施しました。さらに、バス交通の利用促進のため、バスアクセスマップを転入者向けに配布しました。 杉並区地域公共交通活性化協議会において、バスの運転手不足について、バス事業者によって現状説明を実施するとともに、区民委員を交えた議論を実施しました。また、次年度以降の運行計画について、バス事業者の現状に即した内容への改定を視野に検討します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>バスの運転手不足に対応するため、バス事業者の現状や利用実態に合わせた運行計画の検討を実施します。検討に当たっては、乗降データを基にして、より効率的な運行が可能となるように実施します。 さらに、補助金などの金銭的な支援は元より、運転手募集の周知等、運行事業者と共に既存交通を維持する取組も必要となることから、「すぎ丸の日」等を活用した普及啓発活動をこれまで以上に効果的にPRできるよう実施します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>ゼロカーボンシティ実現に向け、すぎ丸の車両更新に合わせて、EV車両の導入を進めます。バス事業者による、運転手不足への対応経費 (人件費) について、補助金による支援を実施するとともに、運行計画改定による運行経費の見直し等を検討します。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00474)

事務事業名称	通学路の設置管理			款	07	項	01	目	03	事業	004	整理番号	459
現担当課名	学務課		係名	学事係		連絡先電話番号	1622		昨年度整理番号	464			
上位施策No・施策名	06 誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和38年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	04					
令和 5年度担当課名	学務課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区立小学校児童	根拠法令等	(1) 交通安全対策基本法第4条 (2) 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、同施行令
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	児童を交通事故や犯罪から守り、登下校時並びに地域における安全を実現する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	通学案内等実施地点数 児童が安全に登下校できるよう、通学の案内及び交通指導を実施する地点 通学路点検実施校数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○区立小学校に通う児童が安全に登下校ができるように、通学の案内及び交通指導を行う。 安全性が高いと判断される道路に登下校時の通学路に指定し、関連部署とともに実施点検や安全対策管理を行う。 児童が安全に通行できるように、電柱に「文」標識を取り付け、通学路であることを周知する。 子ども安全ボランティア活動や学校安全マップ作成を支援する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	学校、PTA、警察、道路管理者と協力し、通学路の安全点検を実施した学校数 登下校時に交通事故に遭った児童数 【社会】 子ども安全ボランティア数 児童の登下校時の安全や放課後の見守りなどのため活動しているPTAその他のボランティア【社会】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 組	168	168	171	171	175	175	102.3	91.7
活動指標 (2)	2 校	12	10	10	9	9	10	100.0	
成果指標 (1)	3 人	7	0	9	0	10	0	0.0	
成果指標 (2)	4 人	14,690	14,017	14,017	14,168	14,168	12,973	100.0	
事業費	5 千円	12,886	182,442	173,166	234,300	214,911	296,085	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,504	4,422	3,410	4,325	3,516	4,353	令和4年度から通学案内及び交通指導に係る事業が移管されたことから、事業費が大幅に増加しています。 通学案内及び交通指導に係る事業の移管に伴い、活動指標 (1) を「通学案内等実施地点数」に変更しました。 成果指標 (1) の計画 (目標) は、0人としています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	368	368	381	761	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	16,390	186,864	176,944	238,993	218,808	301,199		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	1,702	34	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	1,702	34	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	16,390	186,864	176,944	237,291	218,774	301,199	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 459

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	通学案内及び交通指導等業務委託	175	所	170,516
	通学路防犯カメラ整備 (保守点検委託、電気料金等)	294	台	15,953
	通学路標識の取替等	1,345	組	12,749
	学校安全マップの作成	31,000	部	1,040
	その他 (スクールバスの運行、通学路線図の作成等)			14,653
取組成果	<p>区立小学校児童の登下校に係る通学路の要所において、安全な道路の横断を促す等の通学案内及び交通指導業務を委託し、児童の事故防止に努めました。</p> <p>杉並区教育ビジョン2022推進計画に基づき、令和5年度も、引き続き、学校、PTA、警察、道路管理者と協力し、通学路における合同点検を実施し、必要な対応を行いました。</p> <p>令和5年度第2学期から、富士見丘小学校の学区域の一部地域に居住する児童を対象に、スクールバスの運行を試行実施し、通学時の児童の負担軽減を図りました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区内で発生した全交通事故件数は、ここ数年増加し、自転車車が関与した件数も増加しています。通学案内及び交通指導等に当たっては、限られた予算の中でも効果的に実施するため、必要に応じて案内・指導箇所を見直す等の対応を行い、児童の事故防止に努めています。</p> <p>通学路防犯カメラは、全294台設置していますが、順次耐用年数を迎えます。令和5年度には一部機器の入替を行いました。通学時の児童の防犯対策の視点から、令和6年度以降も計画的な入替を行う必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>通学路標識は、数が膨大であり、標識ごとに劣化の状態が異なります。そのため、令和4年度までは、対応可能な一定数について取替等を行ってまいりましたが、令和5年度以降、経過年数に応じて計画的に取替を行うこととしています。</p> <p>富士見丘小学校移転に伴い、令和5年度第2学期から、特定地域在住の第1学年から第3学年までの児童を対象に、登下校のためのスクールバスの運行を試行的に導入し、令和6年4月からは、スクールバスに加え、学童クラブ用送迎バスの試行運行も開始しました。令和8年度には利用状況等の検証を行い、本格導入についての可否を検討・決定することとしており、検討に必要なデータ等を収集する必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>通学案内及び交通指導等の実施箇所は、学校からの要請を受けて昨年度から3所増やし178所で実施しています。通学路の合同安全点検は、今年度10校で実施を予定しており、8月末時点で5校で実施し、必要な対応を図っています。通学路防犯カメラは、耐用年数を経過した117台について、年内にリースにより入れ替えるための準備を進めています。通学路標識は、1600組程度 of 取替に向けて調査しているところです。また、富士見丘小スクールバスは、4月から学童クラブ用送迎バスとともに、継続して試行運行を行いながら、検証方法等について検討しています。</p> <p>現時点での予算の執行率や約30% (支出負担率は約85%) です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>登下校時に交通事故に遭わないようにするためには、通学案内及び交通指導等業務は最も重要な事業であることから、実施場所ごとの優先度を踏まえつつも必要な箇所については対応していく必要があります。</p> <p>改定した杉並区教育ビジョン2022推進計画に基づき、引き続き、通学路の合同安全点検を各年度10校実施するとともに、耐用年数との関係から通学路防犯カメラや通学路標識の計画的な入替、取替を行うことにより、通学路の安全対策に努めます。</p> <p>現在、児童の全世帯へ紙で配布している学校安全マップについては、今年度、効率的で効果的な活用方法等について検討します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>通学案内及び交通指導等業務は、教育活動が行われる日数や、実施場所の増設要請への対応などによって費用が大きく増減するため、これまでの実績を踏まえつつ、増設要請に対応できるよう予算を計上する必要があります。</p> <p>通学路防犯カメラのリースによる入替については、令和7年度は対象となる台数が減少しますが、令和5年度及び令和6年度にリースした台数分を含めてリース費用を計上する必要があること、リース切替までの間に故障等により即時に交換する必要が生じた場合の費用を計上しておく必要があることから、必ずしも予算を縮減することにはつながりません。</p> <p>通学路標識については、今年度と同程度の取替を行う予定です。</p> <p>学校安全マップは、費用面を考慮した上で、効果的な活用に向けて配布方法等について検討します。</p>	